

## ○財務諸表及び収支計算書等に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について  
商品……定額法による減価償却を実施している。
- (2) 固定資産の減価償却について  
什器備品……定額法による減価償却を実施している。
- (3) 引当金の計上基準について  
退職給与引当金……期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額の100%を計上している。
- (4) 資金の範囲について  
資金の範囲は、現金預金、未収金・未払い金、前払金・前受金、立替金・預り金、受取手形、未収会費、有価証券、支払手形及び短期借入金を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載されるとおりである。
- (5) 消費税の会計処理について  
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
貸付信託	0	0	0	0
金銭信託	0	0	0	0
普通預金	3,113	805	0	3,918
定期預金	1,900,790	0	0	1,900,790
小計	1,903,903	805	0	1,904,708
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	975,000	0	0	975,000
減価償却引当資産	0	0	0	0
積立預金	3000000	2000000	0	5000000
小計	3,975,000	2,000,000	0	5,975,000
合計	5,878,903	2,000,805	0	7,879,708

### 3 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高	(単位:円)
現金預金	5,550,575	5,601,266	
売掛金	204,833	396,608	
未収会費	0	0	
未収金	12,000	156,000	
前払金	0	0	
立替金	0	0	
未収入金	0	0	
合 計	5,767,408	6,153,874	
買掛金	64,624	206,280	
未払金	856,193	528,504	
前受金	0	0	
預り金	135,608	98,714	
合 計	1,056,425	833,498	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>4,710,983</b>	<b>5,320,376</b>	

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	(単位:円)
什器備品	333,825	333,823	2	
合 計	333,825	333,823	2	

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
貸付信託	0	(0)	(00)	(0)
金銭信託	0	(0)	(00)	(0)
普通預金	3,918	(0)	(3,918)	(0)
定期預金	1,900,790	(0)	(1,900,790)	(0)
小計	1,904,708	(0)	(1,904,708)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	975,000	(0)	(975,000)	(975,000)
減価償却引当資産	0	(0)	(0)	(0)
積立預金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
小計	5,975,000	(0)	(5,975,000)	(975,000)
合計	7,879,708	(0)	(7,879,708)	(975,000)